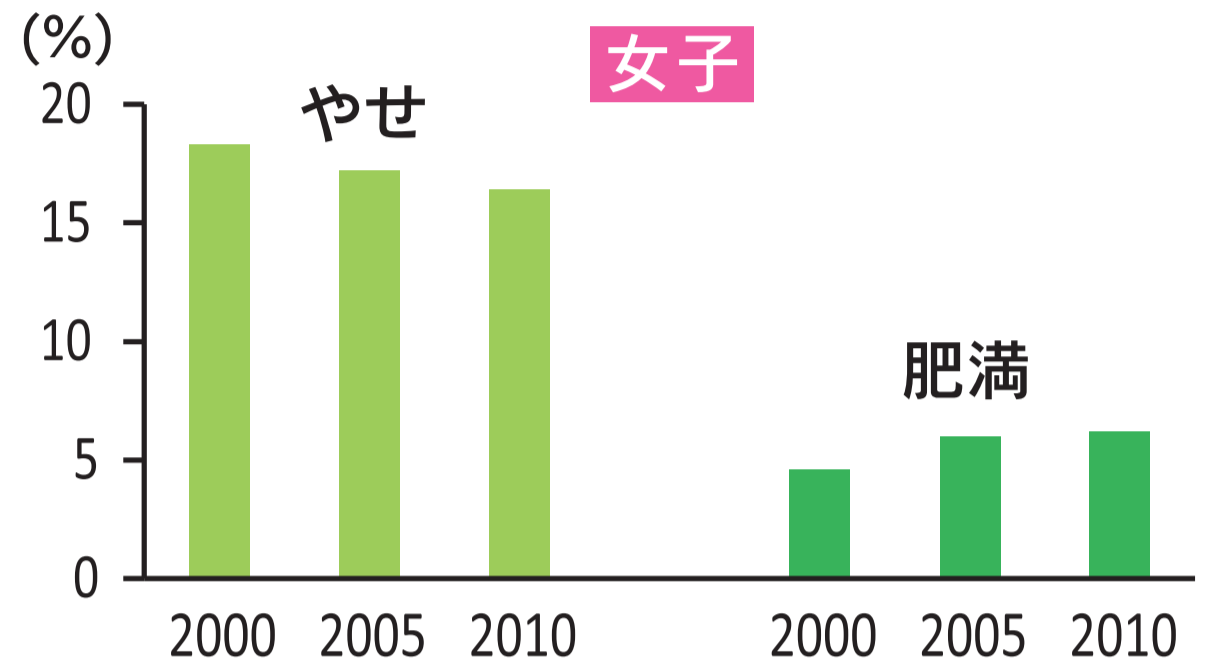
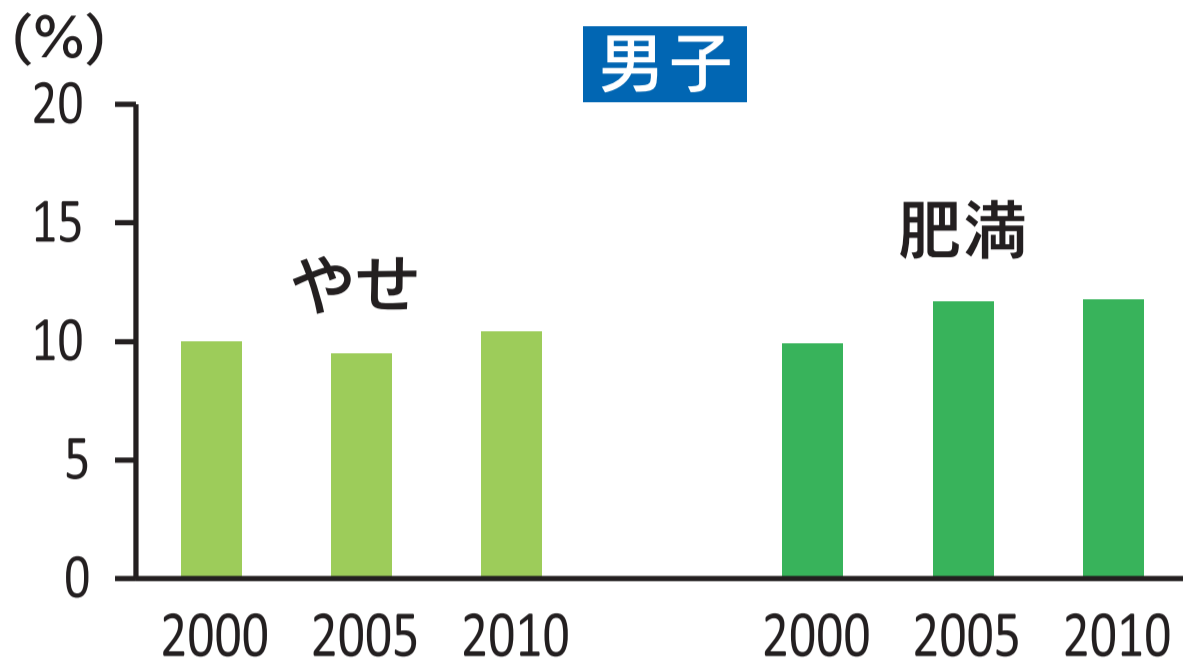


学生の健康白書 2015

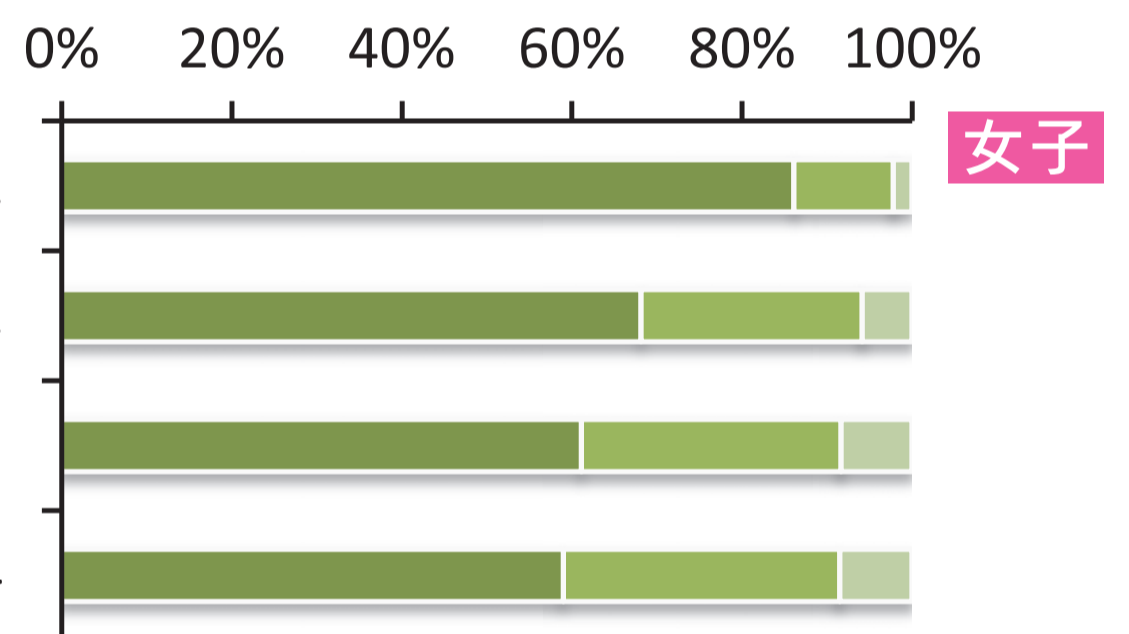
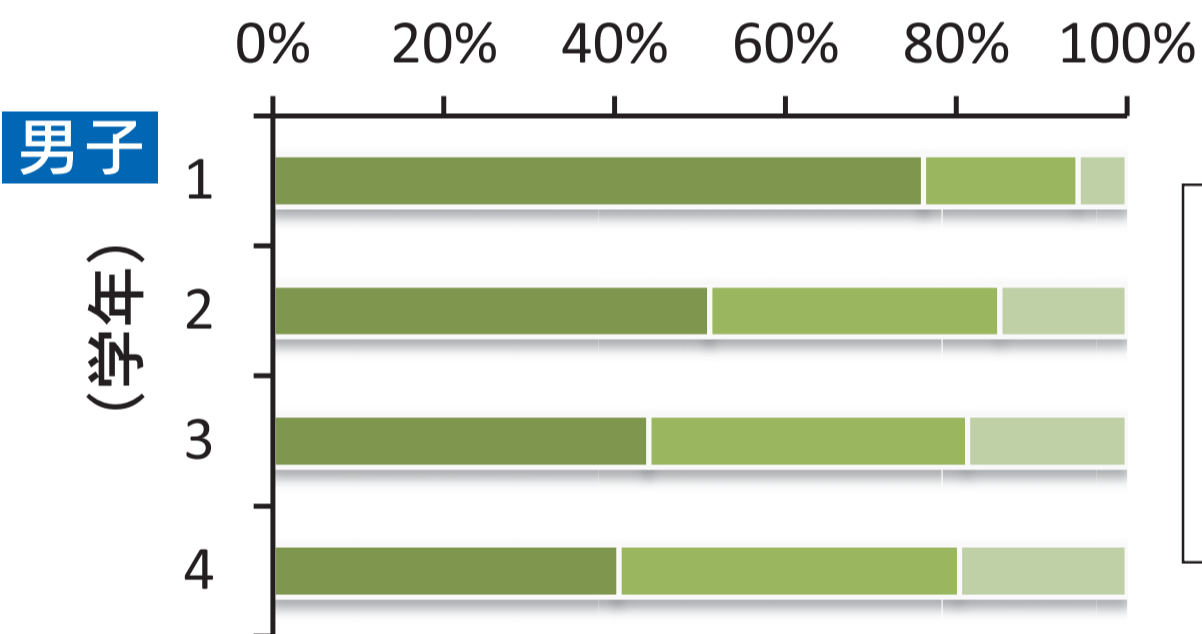
全国の国立大学法人の保健管理センターが共同して、5年毎に定期健康診断や学生生活アンケートのデータを集計して、学生の健康白書を作っています。大学生と大学院生の健康状態を把握して、よりよい健康管理のための基礎的な資料を提供することが目的です。健康白書2000、2005、および2010のデータはインターネット上に公開されています。(http://www.healthcarecenter.osaka-u.ac.jp/kyougikai/06_etcdl.html#hakusyo)

男子は肥満、女子はやせが問題



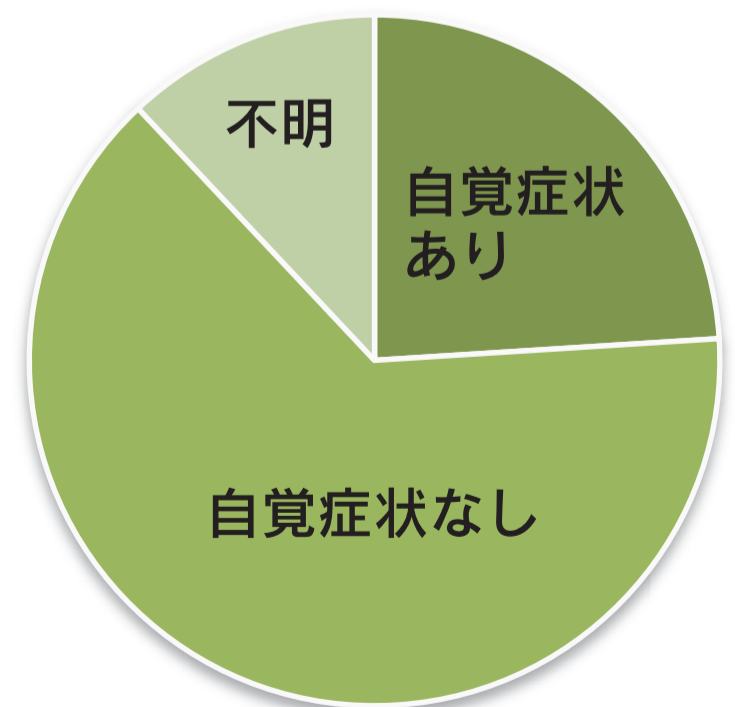
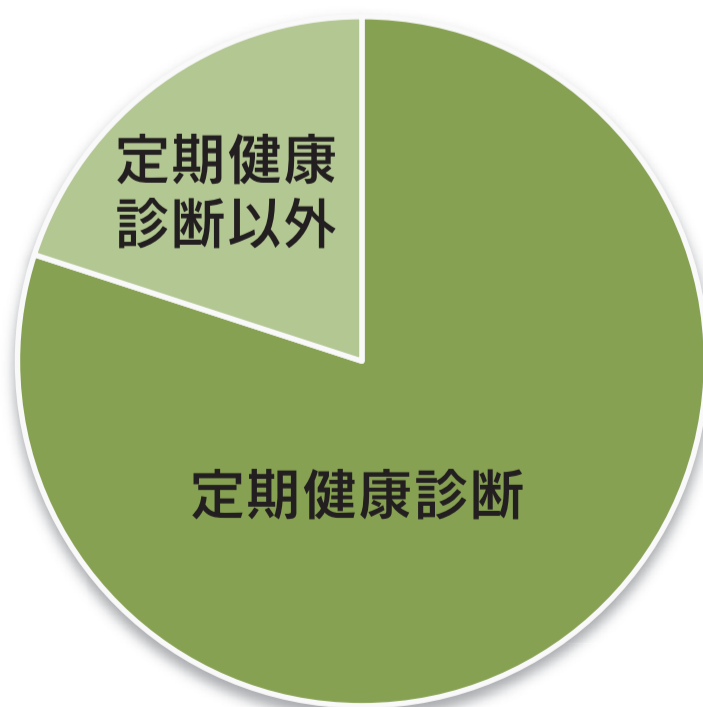
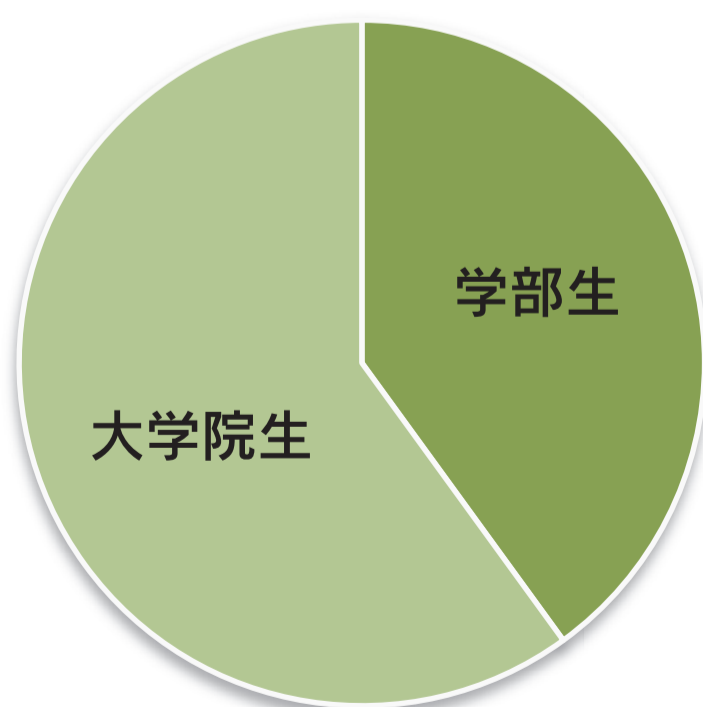
(健康白書2010から)

朝食はだんだん食べなくなる



(健康白書2005から)

結核の多くは無症状、定期健康診断で発見される



(健康白書2010から)

健康白書の作成には、氏名、生年月日など個人を特定できる部分を削除したデータが用いられます。文部科学省および厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」に基づいており、名古屋大学医学部生命倫理審査委員会の承認を受けています。